

# 水と光のまちづくりの取り組み

## ○水辺の魅力向上

・都心部に口の字に流れる川（堂島川・土佐堀川、木津川、道頓堀川、東横堀川）からなる水の回廊を有するまちの特徴を活かし、府民・市民・観光客が、水辺で食、イベント、景観等を年間通じて楽しめる、また、中之島、大阪城、道頓堀など大阪を代表する観光スポットをクルーズ船で巡ることができる、「水都大阪」をめざして、ハード・ソフトの整備が進めている。

中之島 BANKS（水辺のカフェ、ギャラリー等）



シンボルツリープロジェクトの様子

中之島 GATE（食等をテーマにした水辺空間）



・水都大阪フェス 2013 の様子（水都大阪パートナーズの取り組み）

Taisho リバービレッジ（水辺空間を活用した社会実験）



バーベキューレストランの様子

とんぼりリバーウォーク（イベント等の賑わい空間）



中之島にぎわいの森（水辺のレストラン等）



舟運事業



アクアライナー（八軒家浜船着場、大阪城港、淀屋橋港、OAP 港を周遊）

【その他】

アクア mini（湊町～大阪城間）、とんぼりリバークルーズ（太左衛門橋船着場、とんぼりリバーウォーク周遊）、落語家と行くなわ探検ツアー（湊町船着場、水の回廊1 週又は USJ 間）など

中之島公園



水の都の夕涼みの様子（水都大阪パートナーズの取り組み）



オープンテラスの様子（水都大阪パートナーズの取り組み）

川の駅はちけんや（情報発信施設等）



北浜テラス（川床レストラン等）



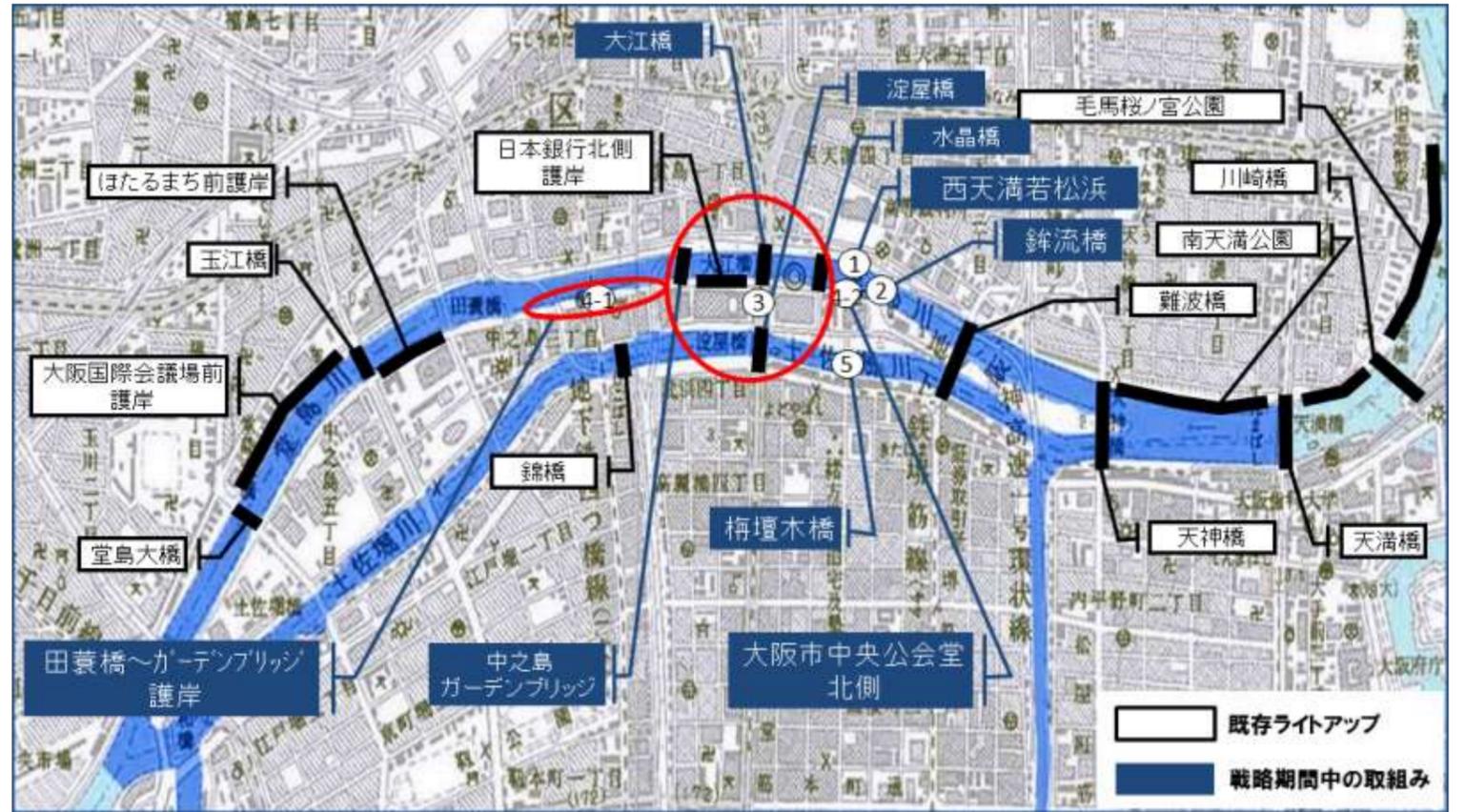
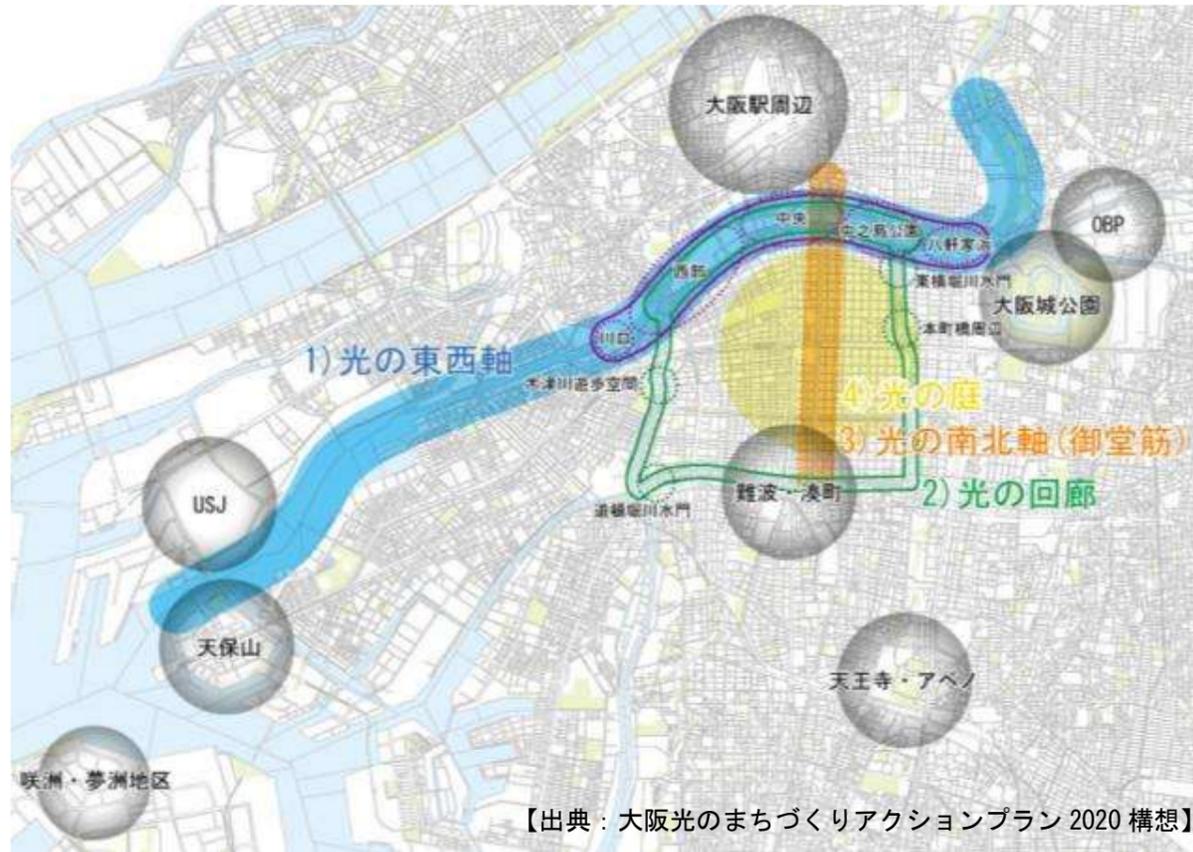
■ : 水辺の魅力スポット  
 (河川の規制緩和を活用した都市地域再生等利用区域における水辺のレストランや川床等)

■ : 船着場  
 (公共船着場及び定期クルーズ就航民間船着場)

## ○光景観の創出

光のまちづくりアクションプランでは下記の光の都市軸が位置づけられている。

- 1) 光の東西軸：東は大阪城エリア、天満・桜ノ宮エリアの一带とし、中之島を経て、西はUSJ、天保山へと続く、大川・堂島川・土佐堀川に沿った軸。咲洲・夢洲地区までを含む。
  - 2) 光の回廊：八百八橋と呼ばれる大阪の資産である多数の橋が架かる、水上の回遊動線
  - 3) 光の南北軸（御堂筋）：大阪駅周辺エリアを北端とし難波・湊町、更には天王寺・アベノまでを南端とした御堂筋を中心とする軸線。
  - 4) 光の庭：光による新たな魅力創出を担う面的な広がり。個性的な近代建築や、緑豊かな公園などを対象とする。
- その他検討対象エリア：大阪駅周辺、OBP、大阪城公園、難波・湊町、天王寺・アベノ、USJ、天保山、咲洲・夢洲地区についても、常設化が検討されている。



スカイラインを形成し都市魅力を高める光のランドマーク（御堂筋）



三休橋筋のガス燈整備



中之島ガーデンブリッジライトアップ改修



民間事業者による水辺のライトアップ（西天満若松浜）



鉾流橋ライトアップ

【出典：大阪府市都市魅力戦略推進会議資料】